

編輯室の内外

編輯を終えて路政界の窓から天下を眺むると、様々の世態は面白い、緊縮政策を繼續して消費の節約を宣傳した内閣が、夫れに依つて當然招來する物價の低落と不景氣とを救濟すると言ひ出す、歳入の減少、之も必然のことであるのに今更夫れに驚いて歳出を減少せむとする。かと思へば、義務教育費の増額を目論む、無策に日を送る政友會の尻馬に乗る譯でもないが、策なくして大膽に勇敢に金解禁を斷行した感がある、非莫債政策も失業者救濟の爲に穴があいた、不徹底な政策を固執せずにモー可い加減に政策を改訂して貰ひたいものだ。

失業救濟の爲に地方公債の發行を許してみても、此事業に雇はるゝ失業労働者は、國家が生活を補償してゐるので働くつても可いのだと言つてゐる、是では事業の能率を擧げ得ないのは當然、斯様な塊石に水的な事業を奨励なさるよりは、金解禁をやつたやうに大膽に勇敢に事業公債を許しながら、之に因つて氣に病む失業者も不景氣の惱も地を拂ふであらうことを宣告する。

本誌定價 五十錢
一ヶ年分 金六圓

注文があるが、御希望に依つて編輯するときは執筆者の都合で、非常に不經濟的な編輯に終る場合がある、編輯子は與えられた紙數を最も有效に使いたい方針であるので折角の御希望も爲し得ない場合を生ずる悪からずお許しを願ひたい。(路政會)

東京市麹町區大手町一丁目内務省内
發行所 社團道路改良會
編輯者 小島效
東京市小石川區諏訪町五六
印刷所 常磐印刷所
印刷者 堀江關武

各欄ごとに分割出来るやう編輯せよと言ふ